



「アナウンス部門」 文理科3年/中倉さん 優秀賞受賞!! 宮崎日日新聞にインタビューが掲載されました



アナウンス部門
優秀賞中倉さん



丹念な取材結実

「聞き手の頭にしっかりと伝えるように振返りができた」と中倉葉香さん

アナウンス部門で最高 評価の優秀賞を獲得し、

中倉さんの作品テーマは「世界最大のカブトムシ」。

本県チームが文部科学大臣賞を獲得する原動力となったのが、宮崎第一三年の中倉葉香さん(17)だ。

アナウンス部門は自ら取材して書いた原稿を読み、その内容や伝える技術を競う。出場者は8グループに分かれ、1人90秒以内で発表。グループごとに優秀賞1人が選出される。

中倉さんの作品テーマは「世界最大のカブトムシ」。ブドウ栽培の技術を生かしてヘラクレスオオカブトを大きく育てている本県在住の男性を訪ね、ブドウの品種改良技術を生かした餌や、体を傷つけないための容器の工夫などについて3、4時間かけて丹念に取材。原稿にまとめた。

癖があったという発音も仲間や指導教諭の助言を仰ぎながら、練習を重ねて修正。同校放送部顧問の岩村栄治教諭(45)は「苦手な発音があっても、持ち前の負けん気で逃げずに助詞の一つ一つまで確認して直していた。とにかく放送が好き」と目を細める。

こうして臨んだ本番ではヘラクレスオオカブトの迫力あるスライドも交えながら堂々と発表、最高の結果をたぐり寄せた。中倉さんは「思いや勢いが強くなり過ぎないよう、聞き手の頭にしっかりと残るように伝えることができた。結果を出すことができてよかった」と喜びをかみしめていた。

新聞掲載

宮崎日日新聞(8月19日掲載)

